



「め」(立体) 1988年

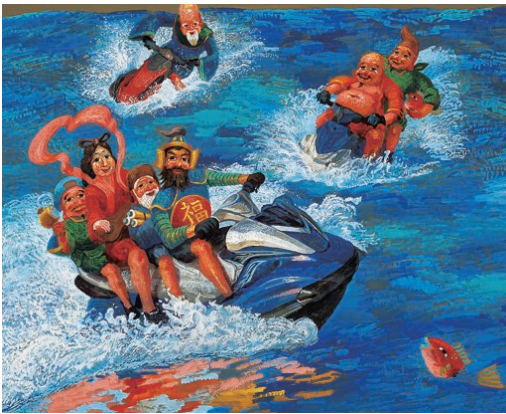
古事記編纂 1300年記念

絹谷幸二

ほうじょう
～豊饒なるイメージ～

奈良県立美術館

アフレスコ古典技法で鮮烈なるイメージ世界を展開してきた絹谷幸二のこれまでの代表作とともに、古事記編纂1300年にちなみ「天孫降臨」等の神話世界を展覧する。

★10月20日(土)～12月16日(日)奈良県立美術館(奈良市登大路町10-6) ☎0742-23-3968
開10月22日、11月19・26日、12月3・10日(日)一般 800円
◇絹谷幸二講演会「古事記を描く」＝11月4日(日)午後2時～、奈良県文化会館小ホール
◇アフレスコ制作＝11月24日(土)午後2時～、美術館レクチャールーム。圖絹谷幸二。
※ともに要事前申し込み。詳細は美術館までお問い合わせください。「フシエラと悪い空王」1976年
200号 東京国立近代美術館蔵「アンセルモ氏の肖像」1973年 40号
東京国立近代美術館蔵 第17回安井賞

「波乗り七福神」2011年 100号

ここに自然や生命への
オマージュがある 南城守乱人間の無限に広がる
想像力創造の可能性を教
えてくれる。奈良出身の絹谷幸二
はアフレスコ古典技法
による独創的なスタイル
と、精神的な制作で40年
にわたって日本の美術界
の第一線で活躍してきた
画家だ。マツが吹き出
すかのような豪快な色
のイメージ世界と女神た
ちの微笑みは、生命の
賛歌を高らかに歌い上げ
た。古布を間近に控える
絹谷だが、旺盛な制作力は宇宙の膨張に喩えられ
るように未知、未踏の世
界へ突き進んで行く。二
次元(平面)・三次元(立
体)を問わず、そこに空
間が在る限り絹谷の食欲
なまでの創意は果てこ
とが無い。その絹谷が畢生のデー
マとして取り組んだの
が、今回の「古事記」で
ある。主権側院の爆撃に
急遽日本各地の取材を敢
行し、立体を含めた20点
に及ぶ大制作を制作し
た。「黄泉比良坂」二天のく、またあるときは深い
悲憤をたなえて、二次元
に三次元に百花繚乱の
スタイルを展開してきた
のである。だが、様々な
変化し展開されても、一
貫した精神性は形を超
えてつながっている。変
容の中の精神の持続、流
行の中の不易である。絹
谷はそこに芸術の真価を
問うのである。絹谷幸二
がかけがえの芸術への理
想、そして自然や生命へ
のオマージュがここにあ
る。第3部には
「絹谷芸術の
変遷」を
変遷した精神性は形を超
えてつながっている。変
容の中の精神の持続、流
行の中の不易である。絹
谷はそこに芸術の真価を
問うのである。絹谷幸二
がかけがえの芸術への理
想、そして自然や生命へ
のオマージュがここにあ
る。奇想・幻想などを絡め、
あやこきは底抜けに明る
い。

（一画より続く）

**理屈で解釈できない
イメージ**

絹谷 今度発表する個展では新作として古事記の世界を描いています。その中で、神武が橿倉を描いている。その橿倉は、三輪大社にあるものは日の丸ですが、多分それを持っているだうけれども、以前京都の田辺町で橿倉を描いた時に、単人舞というのがあるんですね。単人舞というのがある。その人たちがうすまきの橿倉を持っている。南から来たら、神武天皇を描いたときにはこの図像を使おうと思いました。この文様は黒潮の先と同じようなものがあり、上流でも、黒潮の流れがたまたま来ていて、黒潮の流れてきた。神社の千木らぎの形も同様ですね。

青柳 そういふ黒潮系の南からの血というの、何となく情熱的で、ときどき飽きっぽいところもあってね（笑）。そういうものがない、交ぜて、木らぎの形も同様ですね。

絹谷 そうですね。黒潮系の南からの血というの、何となく情熱的で、ときどき飽きっぽいところもあってね（笑）。そういうものがない、交ぜて、木らぎの形も同様ですね。



青柳 ラテン系ですね。したがって神武の顔は少し私に似た二重まつた、大きい目、ちぢれ毛を意識しました（笑）。

絹谷 日本のよさの神もそうですけども、ギリシャ・ローマの神様もよさの神ですから、ゼウスでも最高神のせに嘘をついた女をだましたり、誘拐まがいの事をやりたり、そういう人間のところがとてもおもしろい。肌合いますね。そういう意味で古代を勉強し研究していると、人間味のある、そして理屈だけでは理解できないような部分が非常に多い。

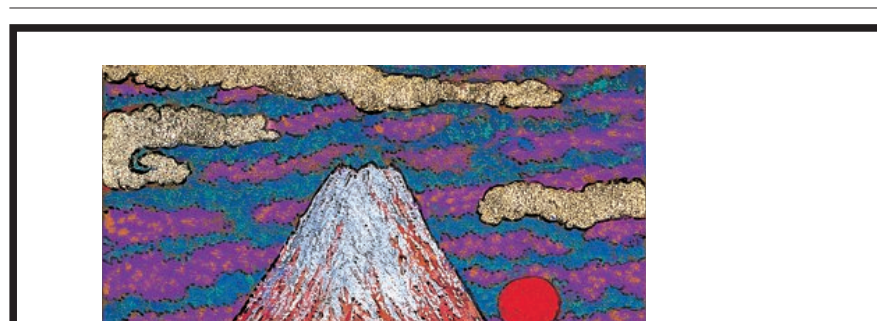
絹谷 楽しいですね。理屈だけでは解釈できない世界をイメージするといふと、何か幅が広がるような気がします。今の時代、どうも細かく



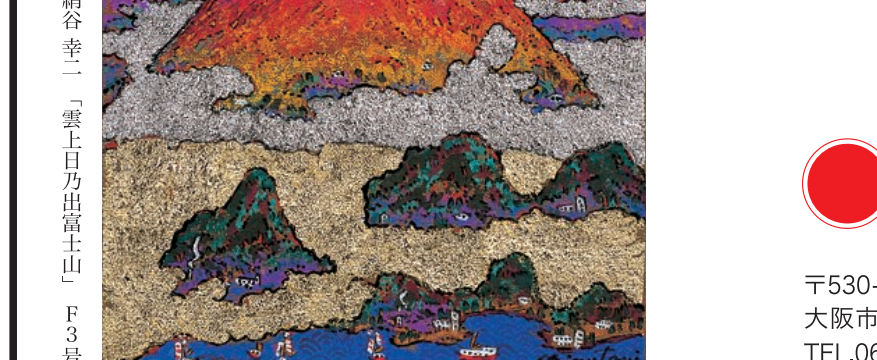
「五穀豊穡芽生へ（大気津比売神）」2012年 150号 「美 悠久・夢 無辺 絹谷幸二展」

青柳 おっしゃるとおり戦国時代ぐらいいまでは、ちょうどイタリアのパロッキに相当するような、茶室も秀吉が金造りで作ったりした。あの頃までは凄く派手好きですね。それが徳川政権になったときから総量規制みたいなのが始まって、その中で今おっしゃったようにせざるを得ない、いや、木綿しか着ちゃいけない、というところだんだん地味になっていった。それでいて一方で、柿右衛門などの陶器にははらしい赤が使われています。隠された面は、だから本来はそれがパッと広がっていてもおかしくないのです。

—— これからの難しい時代に、原発問題なんか起きている中で青柳先生も全国美術館会議でも芸術と美術



絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号



絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

絹谷幸二「雲上日乃出富士山」F3号

特別対談



国立西洋美術館常設展示室

記紀万葉の神話世界を描いた新作も

奈良県立美術館と高島屋の

2会場
で同時開催

日本の美術界でいま最も幅広く活躍する作家 絹谷幸二の個展が開かれる。一つは地元出身地・奈良県立美術館における「古事記編纂1300年記念 絹谷幸二×豊饒なるイメーヅ」そして全国高島屋6店を巡回する「美悠久・夢無辺 絹谷幸二展」で、作家にとってもこれまでにない過去最大規模、同時開催となる展覧である。本紙では、イタリヤ・留学の経験と同じく、古代神話の世界にも共に関心を抱く青柳正規・国立西洋美術館長と絹谷幸二の特別対談を企画、国立西洋美術館の協力を得て行なう。御人の学識・経験と洞察に満ちたヴォリューム感ある対談がそのエッセンスを読者の皆様にお届けする。また奈良県立美術館学芸課長、南城守氏に特別寄稿をお願いした。

絹谷 去年、奈良県立美術館から『記紀万葉3000年』を記念して県のキャンペーンとして出雲や宮崎と協調して企画している。ついで奈良生まれの私に、記紀万葉に合わせ協力していただけたなか、展覧会はどうかということなので、即座にお受けしました。高島屋さんでも個展は決まっていたのですが、故郷の県立美術館からのたての要請です。だから、私も記紀万葉についてまだ描いたことがない、というところから新作になります。それでさっそく宮崎と出雲とが奈良のいろんな所を取材させていただきました。まず

ました。私も青柳先生と同じく1977年からフレスコ画で、イタリア留学経験しました。古代に目を向けていう点では、昔からそういう方面で仕事をし、ローマ中央修復研究所に留学したことで、キョウ教授・妻という壁面の修復の先生に師事し、日本で初めて出た高松塚古墳壁画調査に最初のころ参加させて頂いた訳です。

つまりフレスコ画というものの自体が、古代のずっと続いている仕事で、このままの「記紀万葉とローマとは、ほとんど並行するような時代です。喜んで描かせて頂くこ

いたまう古桶のいりしやるとい
うこと。もう一つは、記紀の世界
に日本書紀や古事記・万葉の世界を題材
に選ばれるというのは、先生のよ
うなワフルな作品を作る方にと
ころで、すばらしくびっぴりして
いるないう感じがします。しかもイ
タリアをよこぐ存じの先生がそうい
う視点から古事記とか日本の国が生
まれる最初の頃に目を向けると、ま
た新しい世界が広がってくるのでは
ないか。その二つです。

絹谷 記紀・万葉の世界をやってみま
すと、九州と奈良とが、ギリシヤと
ローマと同じ流れがあるような気が

とにふたつです。今回、高島屋さんと県立美術館で同時に、紀方万葉にかめて展覧をするチャンスに恵まれました。青柳先生はローマやボネイを詳しく研究されてますのでこの機会に先生と古代と現代とを双眼でお話させていただければと思います。

青柳 お話を聞いていて、なるほどそうか当然なということ、意外

します。ヨーロッパという言葉自体が、ギリシャから見れば地の果て、何もなにも所たない話だったと思うので、ただ、記紀万葉の頃も、九州がむしろギリシアであって、まだ大和地方とか、まして武蔵の地は未開地というイメージがあり、徐々に文化は東進してきているのだという気がします。

高松塚から記紀万葉の世界に

青柳 おおてつ歴史的にも、文化の中心というのは動いて行っているわ



「蒼穹夢譚」 2000年 200号 日本藝術院蔵 日本藝術院賞

古代と現代とを双眼で見て
お話しさせていただければ嬉しい

絹谷



「チェスキー二氏の肖像」1986年 200号 奈良県立美術館蔵
日本芸術大賞

記紀の世界を題材に選ばれるのは
すばらしくぴったり

青柳



ヤゴチャした要素がある。ちょうどそういうものが先生の作品のバイタリティーと、ぴったり一致するのではないか。ですから今度、県立美術館でなさるという展覧会は是非とも拝見したいですね。

絹谷　ぜひご覧下さい。



Professor Tetsuya Tanaka is an elderly man with white hair and glasses, wearing a dark suit jacket over a light blue shirt. He is gesturing with his right hand while speaking.

が考えられる。それから私が興味深く感じたのは、現場はちょうど胡坐をかいて描ける高さなのです。そうしますと、北面の玄武は手暗がりとなり筆が少し乱れます。前田青邨先生は違う作家が描いたのではないかと言われていたのです。東西の青竜

その頃から、先生は記紀万葉の世界に触れていらっしゃったわけですね。

絹谷 今から思いますと、そういうことになりませう。

青柳 それが通底してずっと温められていたというふうにも、考えられ

リックアート

■(株)NKBパブリ
■クレーン熱
※作品に関するお

び ゆう きゅう ゆめ む へ ん
美 悠 久 ・ 夢 無 辺
絹谷幸二展

高島屋各店を巡回

日本神話に基づく壮大なテーマの作品のほか、四季の彩の中で様々な表情を魅せる富士、命と愛情溢れる鮮烈なバラ、日月に映り煌びやかに輝くヴェネチア風景など、時代の閉塞感を払拭するような、ダイナミックな大作から小品までを一堂に展覧する。

★ 10月24日(水)～30日(火) 高島屋日本橋店 6階美術画廊 (東京都中央区日本橋 2-4-1)
 ◎ 03-3211-4111 無休取画無料、ギャラリートーク(以下 G・T) 24日午後5時～、
 11月14日(水)～22日(火) 高島屋銀座店 6階美術画廊、11月21日(水)～27日(火) 高島屋
 京都店 6階美術画廊、G・T=23日午後3時～、12月12日(水)～18日(火) 高島屋横浜店 7階
 美術画廊、G・T=15日午後3時～、12月26日(水)～31日(月) ジェイアール名古屋タカ
 シマヤ 10階美術画廊 2013年1月16日(水)～22日(火)高島屋岐阜店 6階美術画廊



「日本武尊・富嶽朝陽船出」 2012年 150号 「美 悠久・夢 無辺 絹谷幸二展」

美悠久・夢無辺 絹谷幸二展



絹谷幸二「朝陽富嶽玉取り龍」 100号

東京展 ■ 2012年10月24日(水)→30日(火) ■ 高島屋日本橋店6階美術画廊
〒103-8265 東京都中央区日本橋2-4-1 TEL.03-3211-4111代
ギャラリートーク○10月24日(水) 午後5時から

大阪展 ■ 2012年11月14日(水)→20日(火) ■ 高島屋大阪店6階美術画廊
〒542-8510 大阪市中央区難波5-1-5 TEL.06-6631-1101代

京都展 ■ 2012年11月21日(水)→27日(火) ■ 高島屋京都店6階美術画廊
〒600-8520 京都市下京区四条通河原町西人真町52 TEL.075-221-8811代
ギャラリートーク○11月23日(金祝) 午後3時から

横浜展 ■ 2012年12月12日(水)→18日(火) ■ 高島屋横浜店7階美術画廊
〒220-8601 横浜市区南区南幸1-6-31 TEL.045-311-5111代
ギャラリートーク○12月15日(土) 午後3時から

名古屋展 ■ 2012年12月26日(水)→31日(日) ■ ジェアール名古屋タカマヤ10階美術画廊
〒450-6001 名古屋市中村区名駅1-1-4 TEL.052-566-1101代

岐阜展 ■ 2013年1月16日(水)→22日(火) ■ 高島屋岐阜店8階美術画廊
〒500-8525 岐阜市日ノ出町2-25 TEL.058-264-1101代

※会場の都合により出品内容が異なる場合がございます。

 **Takashimaya**
www.takashimaya.co.jp

パブリックアートの未来を拓く — Toward Public Art for the Future —



2008.6 副都心線 渋谷駅「きらきら渋谷」陶板レリーフ 原画・制作監修：絹谷幸二

クレーマーレ

■ (株)NKB/パブリックアート本部 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-3 東京宝塚ビル TEL 03-3504-2107 FAX 03-3504-2113
■ クレアール熱海ゆがわら工房 〒413-0001 静岡県熱海市泉230-1 TEL 0465-62-2034 FAX 0465-62-2195 <http://crearejp.com/>
※作品に関するお問い合わせ、及び、制作のご要望、ご相談は(株)NKB/パブリックアート本部までご連絡ください。